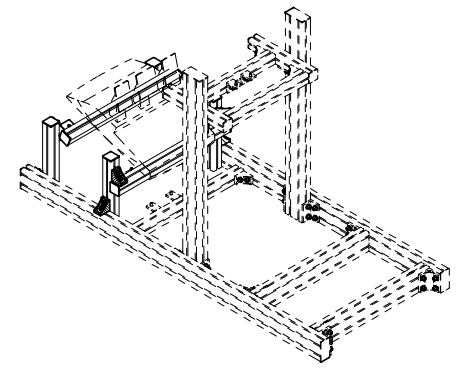


レーシングシミュレーターコックピット アジャスタブルペダルマウントシステム 【KP-PM】取扱説明書

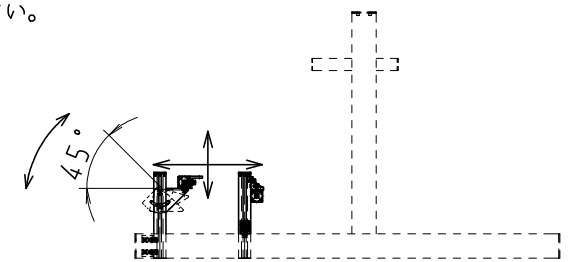
この度は弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品はゲームデバイスやシートを取り付けて遊んでいただける
フレームコックピット(ベースモデル)に追加できるオプション品です。
本取扱説明書に従い安全にお使いください。

この説明書は製品の組み立て方と使い方、ご使用上の注意を記載しています。
製品のご使用前に必ずこの取扱説明書を読んでください。
お読みになったあとも、いつもそばに置いてわからない時にご再読ください。
●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
●本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。



組立上・使用上の注意

- ・組み立てに際しては、手袋を着用して無理のない姿勢で行ってください。
部材の端角部や先端部などでケガをする場合があります。
- ・ペダルの設置位置はご自身の体格や
お好みのポジションに応じて調整してください。
- ・組み立て後に、すべてのボルトを本締めしてください。



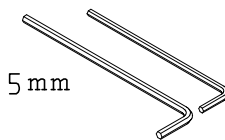
※本製品にはベースモデルとペダルデバイスは付属していません。

 ナット位置
ナット位置を組み立て手順中の断面に示してあります。

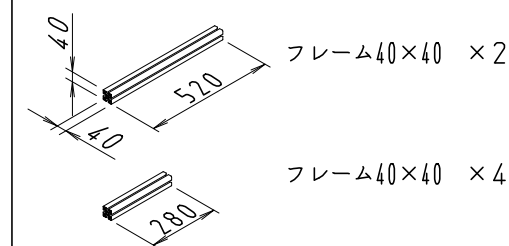
お客様にご準備いただくもの

使用工具

六角レンチ：6mmと5mm



パーツ一覧



フレーム40×40 ×2

フレーム40×40 ×4

L字ブラケット/右 ×1

L字ブラケット/左 ×1

キャップ40×40 ×8

厚ブラケット/黒 ×4

先入れナット ×19

薄ブラケット/幅30 ×3

先入れバネナット ×6

薄ブラケット/幅70 ×2

M6×20/組込 ×3

デバイス取付用のボルト

M8×15/組込 ×6

(対象部品)

M8×20 ×4

(対象部品)

M8×20/組込 ×1

(対象部品)

M8×25/組込 ×4

(対象部品)

長谷川工業株式会社

〒550-0002 大阪市西区江戸堀2-1-1 江戸堀センタービル14F

お客様相談室 TEL: 06-6446-1858



17.12.A.H

組立手順 支柱Aの組み立て

支柱Bの組み立て

1

※1

- 厚ブラケット/黒×2
- 先入れナット×2
- M8×20 ×2
- M8×25/組込 ×2

同じものを2つ組み立てます。

出来上がり状態

※2 M8×25/組込
こちらを先に穴へ通しておきます。

※1 M8×20
座金がないボルト

【注意】
※1印の部品は端面からの穴位置が異なります。取り付け向きに注意してください。(上図参照)

2

※3

- 薄ブラケット/幅70×2
- 先入れナット×4
- M8×20/組込×4

出来上がり状態

【注意】
※3印の部品は端面からの穴位置が異なります。取り付け向きに注意してください。(上図参照)

3

※4

- L字ブラケット/右×1
- L字ブラケット/左×1
- 先入れバネナット×4
- M8×15/組込×4

出来上がり状態

【注意】
※1印の部品は端面からの穴位置が異なります。取り付け向きに注意してください。(下図参照)

4

- 先入れナット×4
- M8×20/組込×4

【手順】
1. 本体のキャップを取り外します。
2. 手順②で組み立てた部品を取り付けます。

5

- 先入れナット×2

【手順】
1. 先入れナットを本体のフレーム上面溝に通します。
2. 手順①で組み立てた部品を先に通しておいたボルトで取り付けます。

先に通しておいたボルト M8×25/組込

6

ペダル設置横フレームの組み立て

- 厚ブラケット/黒×2 ※1
- 先入れナット×2
- M8×25/組込 ×2

【注意】
※1印の部品は端面からの穴位置が異なります。取り付け向きに注意してください。(下図参照)

出来上がり状態

7

- 先入れバネナット×2
- M8×20 ×2

※5 座金がないボルトで固定します。

出来上がり状態

8

- 先入れナット×2
- M8×15/組込×2

9

- 薄ブラケット/幅30×3 ※6
- 先入れナット×3
- M8×20/組込×3
- キャップ40×40 ×8

【注意】
※6印の部品は端面からの穴位置が異なります。取り付け向きに注意してください。(下図参照)

10

ペダルデバイスの取り付け

- M6×20/組込×3

ロジクール製 G29のペダルの取り付け方

スラストマスター製 T300RSのペダルの取り付け方

【手順】
1. ペダルデバイスに負荷が掛からないようにペダルを支えながらフレーム位置を調整してください。

ここがデバイスの底面に接触するようにフレーム位置を調整してから、ボルトを本締めしてください。

※接触させておかないとデバイスを破損する恐れがございます。